

長岡技術科学大学定例記者会見

日 時 : 平成27年2月10日(火) 13:30～

場 所 : 本学事務局3階第1会議室

- 内 容 : 1. 合同企業説明会の開催について
(武藤 睦治 理事・副学長)
2. 都市部地下空間開発の自由度向上が期待される新シールド工法
～H&Vシールドの位置・姿勢算出方法の開発～
(環境・建設系 杉本 光隆 教授)
3. 「やさしい日本語」プロジェクト
～在留外国人に対する分かりやすい情報提供を目指して～
(電気系 山本 和英 准教授)
4. 第14回和太鼓「早春の陣」開催について
(学生サークル 悠久太鼓愛好会つるかめ会
中村吉成 前田貴志)
5. 平成27年度第1学年(一般入試:前期日程)選抜試験について
(中野 俊彦 入試課長)
6. その他
- ・東京都立産業技術高等専門学校、大阪府立大学工業高等専門学校及び神戸市立工業高等専門学校との教育研究交流に関する協定締結について
 - ・国際大学との包括的連携に関する協定締結について
 - ・平成27年3月定年退職予定の本学教授・准教授

以 上

報道資料

平成 27 年 2 月 10 日

報道機関各位

長岡技術科学大学

学内合同企業説明会の開催について

理事・副学長 武藤 睦治

【概要】

本学では、学生の就職活動支援の一環として、例年学内合同企業説明会を開催しており、今年度は企業が採用広報活動を開始する 3 月に開催します。この説明会は、学部 3 年生、大学院 1 年生等を対象として実施しているもので、大学構内のセコムホールにおいて、全日程 6 日間を午前、午後に分け各回 3 時間、それぞれ 30 社のブースを設置し、県内外から 360 社の企業から参加いただいて実施します。

【効果】

首都圏で開催されるマイナビ等主催の企業説明会に出向かなくても、本学の学生を是非採用したいとする多くの企業の採用担当の方に直接お会いし、各企業の経営理念や仕事内容、採用に関する情報を知る貴重な機会となっており、知名度を優先し、経営理念や社風、事業内容を考慮せずに就職する、いわゆるミスマッチ入社を防ぐため、より深く企業を知るための企業研究のよい機会となっています。

さらに、本学学生の採用を検討している企業様から参加いただくため、就職者のうち本説明会参加企業への就職決定者が例年 3 割以上（昨年度実績 35.1%：就職者 453 名に対して 159 名 109 社に就職）となっており、本学の高い就職率の維持あるいは、より良い就職先を確保するための重要な支援事業となっております。

【日程】

平成 27 年 3 月 4 日(水)・5 日(木)・6 日(金)・10 日(火)・11 日(水)・12 日(木)
午前の部 10:00~13:00 午後の部 14:30~17:30

【会場】

長岡技術科学大学セコムホール

【対象】

本学学部 3 年生、大学院修士 1 年生、大学院博士後期課程 2 年生
・昨年度実績 6 日間合計延べ 3,170 人参加

【参加企業数（全体）】 360 社

・県内企業 51 社、県外企業 309 社(東京 183 神奈川 29 大阪 17 長野 10 富山 10 愛知 9 他 51)

報道資料

平成27年2月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

環境・建設系 教授 杉本 光隆

都市部地下空間開発の自由度向上が期待される新シールド工法 － H&V シールドの位置・姿勢算出方法の開発 －

1. 概要

都市部においては、地下空間の利用が進み、新たにトンネルを構築する際に用地難や輻輳した地中構造物の回避などにより、線形や断面の制約が生じるケースが増えてきている。用地幅や上下の制約を回避するための解決策のひとつとして、図-1 に示すように、側方で連結された2連のシールドをトンネル軸回りに回転させて、横2連から縦2連へ移行する掘進（以後、スパイラル掘進と呼ぶ）が可能な H&V シールド工法が開発された。しかし、同工法によるスパイラル掘進は、試験施工1例があるのみで、実施例は皆無である。さらに、スパイラル掘進には以下のような課題がある。

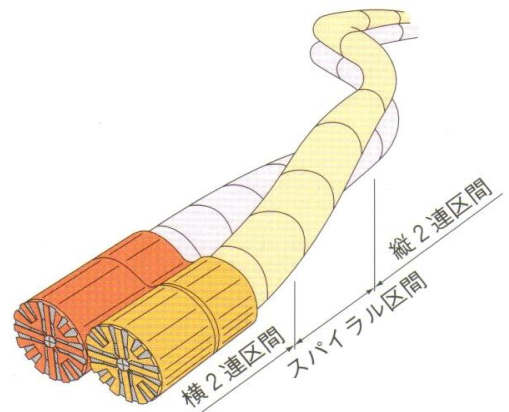


図1 スパイラル掘進概念図

- 1) スパイラル掘進時の2連のシールドの姿勢制御方法の開発
- 2) スパイラル掘進時にシールドが地盤から受ける力とセグメントへ作用する力の把握
- 3) 複雑なスパイラル線形における施工精度の確保

これらの課題を解決するため、通常計測・制御データから H&V シールドを構成する左右の前胴・後胴、合計4つの胴体の位置と姿勢を算出する方法を開発するとともに、この算出方法をこれまで開発してきたシールド機動力学モデルに適用し、H&V シールドによるスパイラル掘進をシミュレーションできるようにした。

2. 何ができるようになるか？

本手法の入力項目は、地盤、トンネル線形、シールド、セグメントの各条件と、時系列のシールド制御項目で、出力項目は、シールドの移動量、姿勢、および、シールド各部（胴体、テール、スキンプレート）に作用する力等である。したがって、本手法を用いることにより、シールドの設計に必要なシールド連結部に作用する力や、施工に必要なトンネル線形を確保するためのシールド制御量やそのタイミングを検討できる。

3. 今後の抱負

本手法を実際のプロジェクトに適用し、その適用性を検証するとともに、H&V シールドのスパイラル掘進におけるシールドやセグメントの設計、施工計画および施工管理に反映し、品質や安全性の向上、リスク管理に活用していきたいと考えています。

報道資料

平成27年2月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学 准教授 山本 和英

「やさしい日本語」プロジェクト ～在留外国人に対する分かりやすい情報提供を目指して～

1. 背景

人材移動のグローバル化や日本の少子高齢化に伴って定住外国人が増加している。彼らに対して日本で自己実現できる可能性を保証するために、行政機関は生活に必要な情報提供を行う必要がある。これは従来主に英語によって行われてきたが、英語が堪能な外国人ばかりでなく、かと言って翻訳言語数を増やすことも現実的でない。さらに、彼らの中には学校での日本語教育を受けていない者も少なくないため、従来の日本語による情報提供でも情報が届いていない恐れがある。これに対し、我々は英語などでの情報提供と並行して平易な日本語（「やさしい日本語」）で情報提供することを提案している。

2. 「やさしい日本語」プロジェクト

本プロジェクトは、一橋大学、東京大学、帝塚山大学、聖心女子大学らの研究者から構成される大学横断プロジェクトで平成22年度に開始された。主な活動内容は、限られた時間で日本語を教えるための新しい日本語教育カリキュラムの選定、教材の開発、及び官公庁が作成した公文書（住民向けの「お知らせ」など）をやさしい日本語で作成、もしくは書き換えるための作業支援環境の構築・整備である。平成25年度からは横浜市役所もプロジェクトに協力し、現在、市役所で使用される文書を対象にしてやさしい日本語の指針策定作業を共同で実施している。

3. 本学での研究活動

本学では、自然言語処理の研究者の立場から、文書診断システム、文書書き換え支援システム、類似文書検索システムなどのWebシステム作成を担当している（図参照）。これらシステムは、いずれも来年度末の完成を目指して現在開発を進め、完成後に一般公開する予定である。

また、これらプロジェクトでの活動と並行して、文章中の難解な語彙を自動的に検出し、平易な語句に自動変換する研究も進めている。これまでに、我々の提案手法によって小学生が一般向けの新聞記事の79%を理解することができることを確認した。また日本で初めて、自動で語彙平易化を行う試作システム(SNOW S3)を先月に一般公開した(<http://www.jnlp.org/SNOW/S3>)。



作成した文章を診断する Ver0.23y

診断結果

項目	評価	解説	対応
語彙	1	とても難いです。	初級読者が70%未満です。
漢字	2	難いですが、漢字が多すぎます。	
構文	3	普通です。	構文もそれほど心配ありません。
長さ	1	とても難いですが、一文が長いものがありません。	
文法	3	ふつうです。	難い文法がつかまっています。
文章	4	適切です。	文章が60%適切です。

総合判定 C

文書診断システムのイメージ

(研究室 Web ページ <http://www.jnlp.org/>, 研究室 YouTube <http://www.youtube.com/user/jnlporg/>)

報道資料

平成 27 年 2 月 10 日

報道機関各位

早春の陣 実行委員会

悠久太鼓愛好会 つるかめ会（長岡技術科学大学）

輪太鼓衆 転太鼓舞（長岡造形大学）

『第十四回和太鼓「早春の陣」 開催について』

1. 概要

和太鼓「早春の陣」は長岡技術科学大学と長岡造形大学の和太鼓サークルに所属する学生が主体となって開催する和太鼓の演奏会です。和太鼓の演奏を通じて、その魅力を広めること、さらに地域の皆様との交流を深めることを目的に 2002 年の関原小学校での開催以来、毎年行われています。

第 14 回目となる今年の「早春の陣」は“青春ストーリー”をコンセプトに、どちらの団体がよりお客様を楽しませることができるか？にける大学生たちの熱いバトルをお送りします。

2. 内容

「早春の陣」は各和太鼓サークルの有志で実行委員会を結成し、和太鼓演奏会の企画からポスター・チラシ製作、会場設営などの全てを学生のみで運営しています。当日の演奏内容は各団体の持ち曲のみならず、早春の陣で見ることのできない二団体による合同曲や卒業生による卒業曲など盛りだくさんです。

昨年 4 月から準備を重ねてきた 1 年間の集大成として、お客様を楽しませる事はもちろん、自分たちも楽しみながら演奏する事で会場が一体となる演奏会にしたいと思っています。

3. 開催要項

開催場所：アオーレ長岡 市民交流ホール A

日時：2015 年 3 月 1 日（日）

開場 13:30 / 開演 14:00 / 閉演 15:30

（入場無料&入退場自由）

出演団体：悠久太鼓愛好会つるかめ会（長岡技術科学大学）

輪太鼓衆 転太鼓舞（長岡造形大学）



4. 出演団体について

□ 悠久太鼓愛好会 つるかめ会

悠久太鼓愛好会 つるかめ会は活動メンバーが 25 人の和太鼓サークルで、週に 2 日の練習日を設けて技を磨き、地域の皆様に支えられ、毎年約 50 件もの出演をさせて頂いています。

私たちは様々な場所で和太鼓を演奏させていただくことで、普段和太鼓を聞く機会のない方々に少しでも和太鼓の良さを知ってもらい、長岡に和太鼓をもっと広めていきたいと思う気持ちで日々元気に活動しています。



□ 輪太鼓衆 転太鼓舞

輪太鼓衆 転太鼓舞は「みんなで輪になって太鼓を叩こう！」をコンセプトに長岡市内の各地のお祭りやイベント、保育園などを中心に活動する、今年で結成 15 年目となる団体です。

活動メンバーは 1 年生から 4 年生全員で 24 名、平均年齢が 20 歳の元気のあるメンバーです。基本は週 2 回の練習ですが、大きなイベント前には毎日朝昼晩と練習を重ね、よりお客様に楽しんで頂けるよう技を磨いています。



<お問い合わせ先>

和太鼓「早春の陣」実行委員会 委員長 中村吉成

e-mail : sousyunnojin@gmail.com

報道資料（入試）

平成27年2月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

平成27年度第1学年（一般入試【前期日程】）入学者選抜試験に関する
報道について（依頼）

本学の入学者選抜試験の実施に際しましては、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、来る平成27年2月25日（水）に入学者選抜試験を実施いたしますので、下記事項について報道くださいますようお願い申し上げます。

また、取材に際しましては、別紙「報道関係者の取材についてのお願い」を遵守されますよう、併せてお願い申し上げます。

記

1 志願者数及び試験日程について
別紙1のとおり

2 試験当日の臨時バス運行について

別紙2のとおり、長岡駅大手口（9番線）から長岡技術科学大学行きの臨時バスを運行いたします。

※ 大学付近の道路の混雑を防止し、受験者が安全に受験できるようにするため、自動車での送迎はできるだけ自粛し、臨時バスを利用するよう報道願います。

3 試験当日の受験生の行動について

受験生は、当日の天候状況及び交通機関の運行状況を考慮し、十分余裕をもって試験場に向かうよう報道願います。

報道資料

平成27年2月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

東京都立産業技術高等専門学校、大阪府立大学工業高等専門学校及び
神戸市立工業高等専門学校との教育研究交流に関する協定締結について

このたび、本学は、東京都立産業技術高等専門学校、大阪府立大学工業高等専門学校及び神戸市立工業高等専門学校の公立3高専と、包括的な連携・協力のもと、教育及び学術研究を推進するため、相互に交流することを目的とした教育研究交流に関する協定を締結することとなりました。

協定締結式、協定の概要は、次のとおりです。

【協定締結式】

日時 平成26年2月23日（月）9：30～10：00

場所 長岡技術科学大学 事務局1号棟 第一会議室

出席者 長岡技術科学大学長 新原 皓一

東京都立産業技術高等専門学校長 田原 正夫

大阪府立大学工業高等専門学校長 藤原 徳一

神戸市立工業高等専門学校長 伊藤 文平

【連携・協力事項】

- (1) 教育連携、共同研究等の実施並びにこれに伴う学生及び教員の交流
- (2) 相互に関心を有する分野における情報及び資料の活用
- (3) その他必要と認める事項

※ 参考

過去5年間（平成21～26年度）における公立高専から本学への入学者数

- ・東京都立産業技術高等専門学校 93人
- ・大阪府立大学工業高等専門学校 24人
- ・神戸市立工業高等専門学校 26人

協定締結式の取材を希望される記者の方は、事前に下記問い合わせ先に連絡くださるようお願いいたします。
また、当日は、自社腕章を着用くださるようお願いいたします。

(本件問い合わせ先)

国立大学法人長岡技術科学大学

企画・広報室 0258-47-9209

報道資料

平成27年2月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

長岡技術科学大学と国際大学との包括的連携に関する協定締結について

長岡技術科学大学（学長：新原皓一）と国際大学（学長：北岡伸一）は、更なる発展を目指し、教育研究、地域貢献、教職員・学生の交流、国際化の推進等の多様な分野にわたって広く協力することで学術及び地域社会の発展と人材の育成を目的に包括的連携に関する協定を締結します。

また、スーパーグローバル大学創成支援大学に選定された両大学が包括的連携に関する協定締結により更なるグローバル化牽引を推し進めることとなります。

包括連携に関する協定締結式

日時：平成27年2月19日（木） 11：00～11：30（予定）

会場：長岡技術科学大学 事務局3階 第一会議室

出席者：

長岡技術科学大学

新原 皓一 学 長

三上 喜貴 副学長（国際交流担当）

中出 文平 副学長（教務担当）

国際大学

北岡 伸一 学 長

加藤 竜太 副学長（総合政策担当）

加瀬 公夫 副学長（産学連携担当）

【スーパーグローバル大学創成支援・事業概要】

世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための新たな取組や、人事・教務システムの改革、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援。

○トップ型（13件）世界ランキングトップ100を目指す力のある大学を支援

○グローバル化牽引型（24件）これまでの実績を基に更に先導的試行に挑戦し、我が国社会のグローバル化を牽引する大学を支援

協定締結式の取材を希望される記者の方は、事前に下記問い合わせ先にご連絡くださるようお願いします。
また、当日は自社腕章を着用のうえお越しくくださるようお願いします。

（本件問い合わせ先）

国立大学法人長岡技術科学大学

企画・広報室 0258-47-9209

報道資料

平成27年2月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

平成27年3月定年退職予定の本学教授・准教授

所属	職	氏名	最終講義予定
電気系	教授	打木 久雄	平成27年3月4日(水) 16:30～、 マルチメディアシステムセンター
物質・材料系	教授	野坂 芳雄	平成27年3月13日(金) 15:30～、 マルチメディアシステムセンター
生物系	教授	古川 清	平成27年3月13日(金) 14:00～、 マルチメディアシステムセンター
生物系	教授	福本 一朗	未定
生物系	教授	三木 徹	平成27年3月18日(水) 14:30～、 マルチメディアシステムセンター
経営情報系	教授	福村 好美	平成27年3月10日(火) 14:30～、 マルチメディアシステムセンター
経営情報系	准教授	村上 直久	平成27年3月10日(火) 15:40～、 マルチメディアシステムセンター
教育開発系	教授	稲垣 文雄	—
教育開発系	准教授	高橋 秀雄	—